

寄せられたご意見と村の考え方について

整理番号	寄せられたご意見	村の考え方
1	<p>☆安心して子育てできる環境づくり</p> <p>2023年やまゆり保育園新園舎の完成、2025年度にはやまゆり学園長寿命化改修事業として、校舎改修工事が計画されてるようです。お蔭をもって、ハード面においては充実してきてると思います。</p> <p>このところ、10年、15年くらいでしょうか、子育て世代の地元出身者のUターン、子育て世代の移住者、定住者が緩やかではありますが、見受けられるようになりました。</p> <p>やはり収入、共働きができる環境があればと思います。</p> <p>村内に職の選択肢がなくても（例えば、吉野、大淀、熊野方面等にでも、こどもを預けて通勤できる、みたいな、需要があるかどうかはわかりませんが）早朝より夕方遅め（例7:00~19:00くらい）まで預かってもらえる保育園の延長保育の拡充、それに伴う、保育士等対応スタッフが負担にならない様、シフトを組めるだけの、人員増員（人件費の増額）があればと思います。</p> <p>子育て世代、家庭への村の施策は大変手厚いと思います。</p> <p>結婚祝い金、出産祝い金、18歳まで1人につき毎年10万円の支給、保育料の無料、給食費の無料、18歳まで医療費無料等々。</p> <p>これは日常見ているの気づきですが、こどもが1人目もですが、2人目、3人目ができた時も、育児休暇をとることが多いと思いますが、その時、例えば3人目が生まれて、育児休暇をとると、上の子2人が保育園から退園させられる、育児休暇中は延長保育してもらえないとかあるようです。</p> <p>（やまゆり保育園はどんな対応されているのか認識不足ですが、預かって頂いてるならすみません。）</p> <p>そばで見ていると、こんな時こそ、保育園で上の子2人、見て頂けたら、お母さんの日常負担も軽減されるのではと思います。特に村内に親の父母や親戚がお</p>	<p>1点目の「延長保育の拡充」につきましては、共働き世帯や核家族の増加など、多様化する保育ニーズに対応するため、保育時間の延長、併せて保育の人材及び質を確保するための取り組みについて、引き続き検討してまいります。</p> <p>2点目の保護者の方が育児休業を取得した場合、すでに保育施設を利用しているお子さんが退園となる「育休退園制度」につきまして、本村では全年齢児で、保護者の方が希望する場合は、継続利用できることとしております。</p> <p>3点目の「育休中の延長保育の利用」につきまして、本村では延長保育の利用は、延長保育時間帯に、保育が必要であることを要件としています。育休中の方も、疾病や介護など個別の事情により、延長保育時間に保育が必要であると判断できる場合は、延長保育の対象となります。</p> <p>4点目の「奨学金制度の拡充、充実」につきまして、ご意見を真摯に受け止め、今後の地域発展と若者支援に関する施策に反映できるよう検討してまいります。</p>

<p>られない家庭、ちょっとしたことでも、預けられない、面倒見られない家庭は助かるのではと思います。</p> <p>高校まではなんとか、大学に進学すると、途端に学費等金銭面の負担が重くのしかかります。</p> <p>村の奨学金制度もありますが、尚一層の奨学金制度の拡充、充実を図って頂きたいです。</p> <p>大学卒業後、村内に住む、就職する、親が村内に残っている等は、奨学金の免除、軽減するなど。</p> <p>親（家庭）、学校、役場、教育委員会、地域の皆様、色々な思い、立場があると思いますが、これはうちの持ち場、これはそちらのテリトリー、それはどこの責任、等々互いに線を引かず、壁を作らず、敷居を高くせず、一丸となって元気、笑顔あふれる上北山の子どもたち『北山っ子』を育てて頂きたい、見守って頂きたいです。</p>	
---	--